

# 平成20年度 病虫害発生予察情報

## 発生予報第11号（10月）

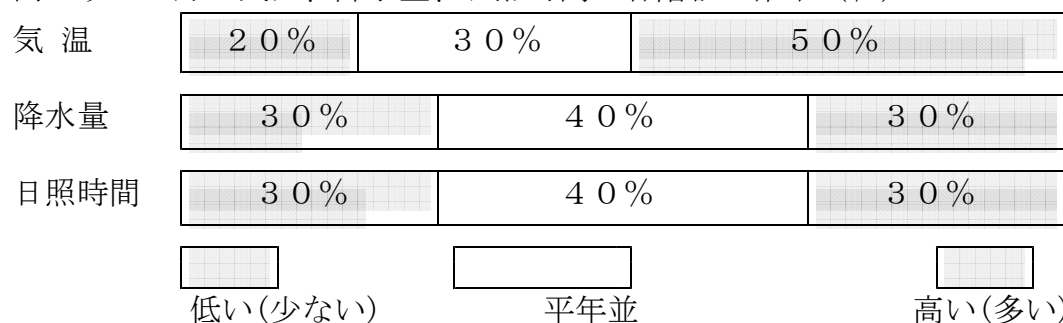
平成20年10月 3日  
島 根 県

### 予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや少ない
野菜	キャベツ	黒腐病	やや少ない
		菌核病	平年並
	アブラナ科野菜	コナガ	平年並
		ハスモンヨトウ	やや少ない

中国地方1か月予報（9月27日～10月26日・広島地方気象台9月26日発表）

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



防除所ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/shimane/>

### A. 果樹

#### 1) カキ

##### (1) カメムシ類

予報内容

発生地方                      県下カキ栽培地帯

発生量                        やや少ない

予報の根拠

- ①予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数はやや少ない。
- ②9月下旬の巡回調査での被害果率は0.8%（平年6.5%）とやや少ない。
- ③10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

### B. 野菜

#### 1) キャベツ

##### (1) 黒腐病

予報内容

発生地方                      県下全域

発生量                        やや少ない

予報の根拠

- ①9月末現在、全般の発生量は平年に比べてやや少ない。
- ②10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月末現在、全般の発生量はほぼ平年並みである。

② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵・幼虫・蛹発生圃場率は28.6% (平年18.0%)、寄生株率は2.9% (平年5.4%) で発生量はほぼ平年並みである。

② 10月の気象は、本種の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県下全域

発生量 やや少ない

予報の根拠

① フェロモントラップによる7月から現在までの雄成虫累積誘殺数は、出雲市で平年の28.9% (今年：479頭、平年1659.9頭)と少なく、益田市で平年の54.2% (今年1518頭、平年2799.2頭)と少ない。

② 9月下旬の調査では、アブラナ科野菜での卵塊・幼虫発生圃場率は14.3% (平年65.0%)、寄生株率は1.4% (平年9.2%) で発生量は少ない

③ 10月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

島根県病害虫防除所  
(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫グループ)  
〒693-0035 出雲市芦渡町2440  
TEL：0853-22-6772  
FAX：0853-24-3342  
ホームページアドレス <http://www.jpnpn.ne.jp/shimane/>